

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年六月度 入選句（投稿総数一千八百五句・小中学投句数千七百七十句）

特選

選者 説田 祐子

七夕によくばりたんざく書いていく 大垣市 糀矢 みう(小三)

七夕の日には、笹竹に自分の願いごとを短冊に書いて飾りみんな楽しんでますね。作者は短冊にどんな願いを書いたのでしょうか。「よくばり」とあるので、きつとあれもこれもと願うことやがんばりたいことを書いたのでしょうか。「よくばり」はよいことです。願いをたくさんもつことは、その願いがかなうようにがんばってほしいという気持ちの表れでもあります。「よくばり」と思う程の願いがかなうことを祈っています。

つゆ晴れて母さんなんだかやさしい日 大垣市 山田 ゆあん(小二)

梅雨の間はお母さんならずとも誰もが心も湿りがちになりますね。洗濯物が乾かない。掃除をしてもすっきりしない。外へ出るのもおっくうだななどと。その梅雨が晴れた日、お母さんはきつと掃除、洗濯、買い物といそいそと動いていられるのでしょうか。そのお母さんの様子を見て、「なんだかやさしい日」と思ったのですね。子どもさんならではの感じ方です。きつとこの日はお母さんとの会話もはずんだことでしょうか。

かたつむりつくんと目だしぼくを見る 大垣市 日比 終斗(小四)

♪でんでんむしむしかたつむり おまえのめだまはどこにある つのさせやりだせ めだまだせ ♪という歌がありますね。かたつむりが長いつを出してくる様子を「つくんと」とらえ、「ぼくを見る」ととらえたことは、じつと見ている作者とかたつむりとの一体感が伝わる楽しい句です。

秀逸

ツバメの子巢あとのこして旅に出る 大垣市 安藤 美空(小六)

準決 勝夏風かりてホームラン 大垣市 安藤 潤(小六)

青空にかけのぼつてくこいのぼり 大垣市 田中 一雅(小六)

ありさんよぼくのおやつはとらないで 大垣市 いとう しゅんすけ(小二)

せんぷうきいやいやすねてそつぽむく 大垣市 山田 ゆあん(小二)

ミニトマトみずをあげたらせのびした 大垣市 米山 あい(小二)

こいのぼりわたしが帰るとしっぽふる 大垣市 黒原 ゆうか(小三)

ひまわりはわらったときのお母さん 大垣市 伊藤 賢心(小四)

梅雨空を見上げる私もどんよりと 大垣市 増井 陽向(小五)

かえるたち田んぼのプールで一およぎ 大垣市 大橋 一輝(小五)

こもれびが地面にアートをつくりだす 大垣市 川瀬 藤矢(小五)

入選

おぼろ月照らしてうつる大垣城	愛知県瀬戸市	豊嶋	健斗(小六)
きよ年きた水ぎがことしきれないよ	大垣市	渡辺	真衣(小二)
しせいよくひまわりさんをみならって	大垣市	森本	彩乃(小二)
かたつむり雨がふるまでかくれんぼ	大垣市	吉川	未悠(小二)
雨ふりのならんだかさの登校はん	大垣市	堀家	菜々子(小四)
わかばかぜ元気なみんなも遊んでる	大垣市	安田	あずみ(小五)
こしをまげじいさんたちが田植えする	大垣市	竹内	恒太(小五)
あじさいは雨がふるたび光りだす	大垣市	森見	元哉(小五)
わか葉たちゆれあっているおどってる	大垣市	井上	奈菜未(小五)
父の日に家族の笑顔写真とる	大垣市	北村	帆乃香(小六)

入選

主役級スーパの中の新たまねぎ	大垣市	盛田	綾香(小六)
ほたるとぶみにきたひとがいっぱいだ	大垣市	しばた	はなこ(六才)
ほたるさんでんきをつけてどこいくの	大垣市	吉岡	泰基(小二)
つばめの子新しい仲間できたかな	大垣市	芦野	涼也(小四)
水たまり空のにじがうつってる	大垣市	森下	香奈(小四)
くもの巣が雨にかかってほうせきだ	大垣市	川瀬	唯華(小四)
かえるたち池の周りでうんどうかい	大垣市	長谷川	実奈(小五)
夏つばめやつぱり今年もぼくんちに	大垣市	伊藤	誠章(小五)
あげ羽ちよう目を引くドレスゆらしてる	大垣市	古田	晏寿(小五)
ホテルたち黄色の光で会話中	大垣市	牧	萌花(小五)

選者吟

青田道ペタル踏む子の齒の白さ

祐子